

大宮区役所新庁舎整備事業 (第1回) 市民ワークショップレポート



大宮区役所新庁舎整備事業「市民ワークショップ」が始まりました！

今回の市民ワークショップは、整備基本方針である「区民に開かれ、利用しやすい施設」の実現と市民との協働を図るため、市民の皆さまの意見を施設計画に反映することを目的としています。

「市民ワークショップレポート」では、全4回のワークショップの活動内容、検討状況を市民の皆様にお伝えしていきます。

開催スケジュール

第1回(7月16日)
(市民会館おおみや)
○オリエンテーション
○整備事業概要、
事業者提案の説明
○現地視察
○グループ
ディスカッション等

第2回(7月30日)
(まちラボおおみや)
○小中学生意見紹介
○模型を用いながら
の意見交換
○グループ
ディスカッション等

第3回(8月20日)
(まちラボおおみや)
○模型を用いながら
の意見交換
○グループ
ディスカッション等

第4回(9月3日)
(まちラボおおみや)
○報告会
○グループ
ディスカッション
○全体のまとめ

運営体制

ファシリテーターの進行の下、市民委員、事務局合わせて63名が5グループに分かれて、ディスカッションを行いました。また、アシスタントとして東洋大学の学生にも加わっていただきました。

市民委員：31名(公募8名、各種市民団体等からの推薦者23名※欠席5名)

事務局：32名(ファシリテーター2名、事業者19名、さいたま市担当課11名)

アシスタント：13名(東洋大学 工藤研究室の学生の方)

ファシリテーター紹介



工藤和美先生

東洋大学理工学部建築学科教授/シーラカンズK&H株式会社代表取締役
大宮のまちづくりに深く関わっていただいております、新庁舎の意匠主任技術者です。金沢海みらい図書館などを手掛けています。



藤村龍至先生

東京藝術大学美術学部建築科准教授 / RFA 主宰
「まちラボおおみや」運営支援など大宮のまちづくりに深く関わっていただいております、「大宮東口プロジェクト」等を手掛けています。

ワークショップとは：参加者がお互いに意見を出し合い、学び、交流を深めながら、問題の解決策やアイデアを創造していく手法のことを言います。ワークショップの進行役で、参加者の意見をまとめあげていくのがファシリテーターになります。

オリエンテーション・整備事業概要説明・事業者提案説明・現地視察

○藤村先生より、市民ワークショップの位置づけについて説明がありました。

・事業者提案をベースとする。

・施設の利用方法、運営方法などのソフト的な意見を反映することを基本とする。必要に応じてハード的な意見を反映する。

○市の職員から大宮区役所新庁舎整備事業の概要を説明しました。

・新庁舎の整備計画、新庁舎の整備手法(PFI方式)、事業者選定、今後のスケジュールについて

○設計担当者の説明を聞きながら現地視察を行いました。

○工藤先生より、事業者提案について説明がありました。

・コンセプトイメージ「人を紡ぐ」「まちを紡ぐ」「時を紡ぐ」

・7つの整備基本方針「みんなのリビング」「ふれんどおおみや」「地域のシンボル」「未来への伝承」「地域の防災拠点」

「財政貢献型庁舎」「環境配慮型庁舎」

・平面図、イメージ図等



グループディスカッション・発表

AからEの5グループに分かれ、各班で自己紹介をし、進行役、発表役などを決めました。その後、ワークショップで議論したこと、事業者提案に対して思うことなどについて意見交換を行い、最後に各班の代表者がそれぞれの意見を発表しました。(詳細は次頁参照)



第1回のまとめ

最後に第1回のまとめとして、藤村先生より講評をいただきました。「例えば高齢者の方が高齢者のことを考えてほしい、高校生の方が高校生のことを考えてほしい、それは基本的な進め方だと思いますが、最終的には「誰もが利用しやすい」「みんなが利用しやすい」という施設の理念に向かって、高校生の方が高齢者のことを想像する、高齢者の方が若い人のことを想像する、そういう場になるように回を重ねていければと思っています。他の世代がどう思われるか、今ここにいらっしゃらない方はどう思われるか、女性の方はどう思われるか、外国人の方はどう思われるか、よその町から来られた方はどう思われるか、いろいろと想像を広げていただけてディスカッションができればいいのではないかと思います。」



各班の様子

<Aグループ>



- ・健常者の視点ではなく、ユニバーサルデザインなど多角的な視点を設計に求めたい
- ・大きく一体的に使える会議室が欲しい
- ・災害拠点となる大きなスペースが必要
- ・合板の使用は極力避けて国産の間伐材（床・壁）を使ってほしい
- ・雨水を貯められる設備があるといい
- ・2F の児童書コーナーが外回りと繋がっているが、そこから 1F に繋がる階段があるといい

<Dグループ>



- ・図書館をもっと有効利用して、多目的に使える場としてアピールしたい。コンサート etc
- ・ステップリビングをいかに運営していくか。交代制など誰にでも使いやすくしてほしい
- ・コンビニの必要性。特色を出すべき
- ・大宮駅から離れ、アクセスが心配
- ・広場はファミリーが来やすい場にしたい
- ・駐車場はワゴン車対応も必要
- ・氷川参道沿い広場の木はどれほど残せるのか

<Bグループ>



- ・子どもも大人も楽しめる空間/良いものができそうワクワクする
- ・勉強もできてカフェもあって、全部ある空間
- ・手すりのガラスのプリントは季節によって変更は出来るようにするといいのではないか
- ・静かに利用する人にも配慮しなくてはいけない
- ・本を持って話し合いが出来るような企画、本を紹介する企画が欲しい
- ・テラスに本を持って出て行けるようにしてほしい

<Eグループ>



- ・区役所のセキュリティはどうなっているのか
- ・区民交流スペースを有効利用していきたい
- ・アプローチを楽しくしてほしい
- ・コミュニティサイクルに関して検討してほしい
- ・雰囲気良くなるので、ピアノを置いてほしい
- ・幼児スペースで、0-1 才、2-3 才など、区別して設計してほしい
- ・小さな子供のスペースはもっと奥にあった方がいい
- ・小さなスペースにもテーブルを置いてほしい。

<Cグループ>



- ・大宮の目玉にしたい/新都心側の参道にもっと人を集めたい
- ・建築の魅力で人が集まるようにしていきたい
- ・家具をどのように配置するか、市民の拠点として家具、ソフトも重要になる
- ・若者が休日利用もするようなくみが必要
- ・市民が運営にも参加できるようなくみが必要
- ・女性目線も必要
- ・自転車利用率が高いが駐輪場面積が少ないのでは
- ・高齢者を考えた機能、エスカレーターの下りも必要